

2006 年度

科目名 フィールドワークⅡA	対象学科・学年 文学部日文2回生	担当者 小林 健二
授業テーマ 京都の代表的な祭礼行事である祇園祭を訪ねる		
授業の概要と目標 祇園祭り（祇園会）は日本を代表する祭礼であり、京都の文化が凝縮された祝祭でもあります。この講座では、現在でも行われている祇園祭を訪ねて、祭礼と芸能の本来のあり方について学ぶことを目的とします。		
評価方法 事前調査の報告と祭礼行事のレポートにより評価します。		
テキスト プリントを配布します。	著者	出版社
参考書 適宜、紹介します。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 〈ガイダンス〉 4月中にガイダンスを行いますので、実施日について掲示を注意して下さい。 〈事前学習〉 7月の祭礼当日までに、祇園祭りの行事内容や組織・歴史について文献資料をもとに調査し、レポートしてもらいます。 また、事前に京都の八坂神社・お旅所を探訪して、当日の調査に備えます。 〈祇園祭り〉 祇園祭りは、7月17日に行われる山鉦の巡行が有名ですが、各町の山や鉦を見学し調査するには前日の宵山の方が落ち着いて出来ますので、本講座では宵山を調査・見学します。宵山では各山鉦町が山鉦を飾り、祇園囃子を奏し、各会所や旧家においても宝物や屏風を飾って客をもてなすので、文化財見物には打ってつけの機会ともなります。 日本の祭礼の意義や形式、また文化のあり方を知るうえにまたとない機会となるので、ただ見物するだけでなく、各自がそれなりの問題意識をもって参加することをのぞみます。 〈事後学習〉 祇園祭りで調査したことをレポートとして提出し、それを発表しながら祇園祭りの神事的意義について討論します。 〈注意事項〉 16日は一日中京都で行動することになります。毎年見物客が多く、混雑しますので、引率者の指示には必ず従うこと。		